

16. 地盤と地震災害

1 ねらい

中・大型地震の発生時における地震災害（地震の影響度）のようすを調査し（あるいは調査資料を用いて）そのようすと地盤の状態との関係を考察し、防災地学についての基礎的な考え方を身につけさせる。

2 準備

白地図（目的によって2.5万分の1～1万分の1）、調査用紙（または調査結果の資料）

調査用紙No		44石とうろう・墓石などのようす
観察者氏名	年令 ()	441石とうろうなどが無い 442倒れた
住所	☎ ()	443ずれた 444影響なし
1 観察場所	11道路上 12広場・公園 13畑地	—以下省略—
14水田 15建物内		5 器物などへの影響
2 その場所の	21古くから現在と同じ	51振り子時計への影響
土地の状態	22近年の造成地で以前の状態は	511振り子時計はない 512止まる 513止
	221沼地・沼地 222河川敷	らない 514わからなかった
	223水田 224畑地 225原野	52たてておいた自転車への影響
	226山地 227谷	521自転車はない 522倒れた 523倒れない
3 建物の状態	311木造 312プレハブ 313鉄筋	524わからなかった
	コンクリート	53 不安定な物体への影響
	321一戸建 322二戸建 323三戸	531不安定なものはない 532倒れた 533
	建以上	倒れない 534わからなかった
	331一階建 332二階建 333三階	54安定な物体への影響
	以上	541倒れた 542倒れない 533わからな
	341建物ができてから () 年	かった 543
	ぐらい	55器や池あるいはプールの水への影響
4 建物への影響		541器や池などが無い 542あふれた 543
41建物のこわれた程度		あふれない 544わからなかった
411全部つぶれた 412一部つぶれた 413		—以下省略—
傾いた 414壁が落ちた 415壁にひびがはい		6 土地への影響
る		61地割れ
416影響なし		611方向 () かが ()
42屋根がわらのようす		612幅 () cm 613長さ () m
421かわらがない 422全部落いた 423一		62断層 —省略—
部が落ちた 424ずれた 425影響なし		63崖崩れ—省略—
43ブロックまたは石積みのへいのようす		64わき水—省略— —以下省略—
431へいがない 422全部倒れた 433一部		
倒れた 434影響なし		

表1 調査用紙の例

3 方法

調査項目ごとに影響の状況を白地図上にプロットし、それと地形・地質の関係を考察する。